

つながる医療

ご自由に  
お持ち  
ください

社会医療法人大雄会 広報誌

大雄会の専門家に

聞いてみよう！

「これから糖尿病との付き合いを

丁寧にサポート致します」

すゝめ

糖尿病入院の



社会医療法人大雄会  
内分泌・糖尿病内科 診療部長

はしもと

まさや

橋本 昌哉

「糖尿病で入院？」と多くの方は思ったはずです。

「忙しい、症状もない、そもそも糖尿病で入院？」など…まだまだあると思います。

そんな糖尿病入院の疑問にお答えしていきます。

# 糖尿病入院3つのメリット

## 1 短期間で集中的に治療ができる

通院では1か月毎の診察になることが多く、血糖値を良くするまでに時間がかかります。入院中は毎日診察ができるため、短期間に集中して治療を受けることができます。また、集中的に血糖値を改善すると、その後仮に血糖値が悪化しても良い状態のことを体が覚えおり（メタボリックメモリー）、またその効果が持続するため、年単位でみた場合に合併症発症が抑えられる効果（レガシー効果）があることが分かっています。

## 2 合併症の評価や専門的な検査をまとめて行える

入院中は、糖尿病に関する合併症の検査を短期間で一気に行うことができます。  
また、入院ならではの専門的な検査も受けられるため、今の体の状態を正確に把握できます。

## 3 知識を深め、自分とじっくり向き合える時間ができる

糖尿病の知識や生活習慣について医療スタッフから丁寧に説明を受けることができ、自分の治療を見直す良い機会になります。時間に余裕があるため、自分自身の生活や健康としっかり向き合うことができるのも良い点です。

## 糖尿病で入院したら何をするの？

### 糖尿病への理解を深めるための情報提供

看護師・管理栄養士・理学療法士など様々な職種から、糖尿病の一般知識や注意点、栄養バランスを意識した食事の選び方、健康的な運動など、日常的に糖尿病とうまくお付き合いするために必要な情報をわかりやすくお伝えしています。



### 糖尿病と合併症の検査評価

糖尿病は全身に合併症や併存症を起こすため、採血や蓄尿（1日尿をためる検査）、エコーやCTなどの画像検査、神経伝達速度や血管年齢検査などの生理検査を行い、糖尿病と全身の合併症をしっかり調べます。

### 最適な治療法の選択

検査結果を踏まえたうえで、インスリン治療や薬物療法、生活介入など適切な治療方法の選択を行っていきます。

短期的にみると入院治療はお金と時間がかかりますが、長期的にみたときには将来への大切な自己投資になります。糖尿病入院で短期集中的に治療を行うことで、糖尿病のない方と変わらない人生を送ることができるように皆さんをサポートしていきます。

糖尿病とお付き合いしながら健康で幸せな人生を送っていきましょう。

